

2019年9月期 第1四半期決算説明資料

2019年2月6日

ステークホルダーの皆様へ

当社は、2019年2月6日に2019年9月期第1四半期決算を発表いたしました。当四半期も引き続き**前期を上回る業績**を収めることができ、これもひとえにステークホルダーの皆様の日ごろのご支援と感謝しております。

当社グループは、IT技術をもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指し、**エンベデッド技術、通信制御技術、半導体分野での豊富な経験と高い知見**に加え、**サイバーセキュリティ製品「AppGuard®」の取り扱いを開始**しております。これらの取り組みにより、来るべき**IoT/IoE社会すなわちConnected Worldを見据えた「IoT社会の循環構造」**が当社グループ内に整いました。

その一方で、当社グループが保有していないIT技術領域も残されており、この解決に向け**特殊技術や先端技術を保有する事業会社との各種アライアンスを並行して検討・推進**しております。

当社グループは、これからも「**安心・安全・豊かな社会**」を実現すべく、「**IoT/IoE社会 = Connected World**」、「**IIOT = Industrial Internet of Things（産業分野におけるIoT）**」、「**自動走行・自動運転・Connected Car**」、「**VR/AR**」、「**AI**」等へソフトウェア技術を提供するとともに、「**M&A戦略**」により**グループの拡大**を目指してまいります。

引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。

PCIホールディングス株式会社
代表取締役社長 原口 直道



1. 既存事業の好業績に加え、M&Aの寄与により前期を大幅に上回る売上高実績

<2017/9 連結売上高 >

通期実績： **11,397百万円**

(前期比34.0%増)

<2018/9 連結売上高 >

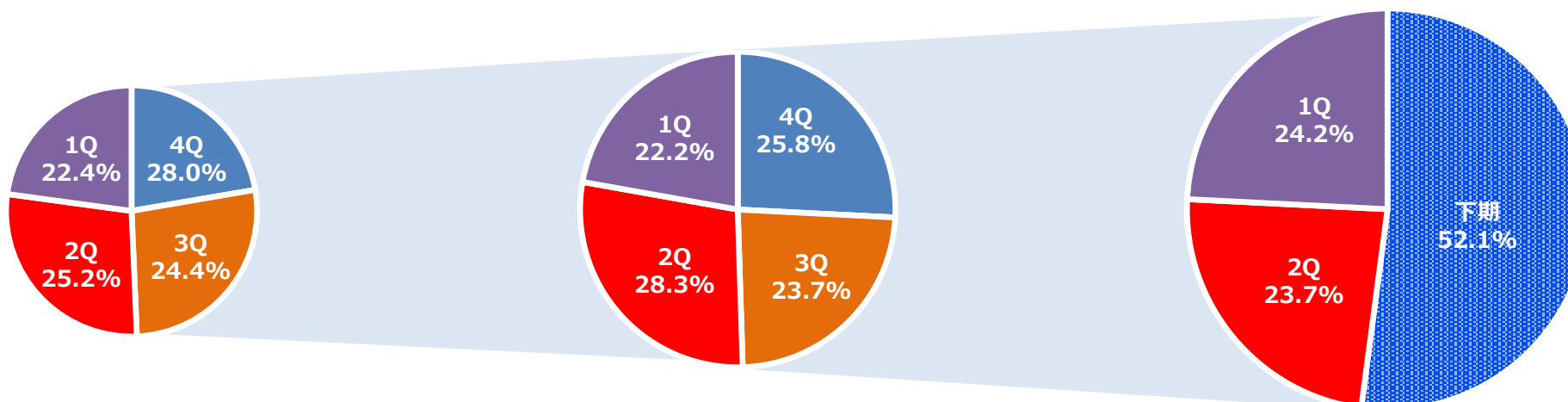
通期実績： **14,493百万円**

(前期比27.2%増)

<2019/9 連結売上高 >

通期予想： **16,000百万円**

(前期比10.4%増)



2. 引き続き「安心・安全・豊かな社会」の実現と、次世代技術の創出に向けた研究開発にも注力

- ・ 車車間通信を可能にする **「V2X」**
- ・ コミュニケーションツール **「A-ya」**、**「位置情報」** を活用したソリューション
- ・ 情報セキュリティ分野への取り組み **「AppGuard®」**



売上高：**3,866百万円（前年同期比 20.4%増）**。多様化する顧客ニーズに対し、高品質なサービスを提供し成長継続。IoT/IoE分野においてグループ間シナジー効果による多角化を推進。

ITエンジニア不足に対しては、ビジネスパートナー（BP）とのアライアンス強化を継続。

営業利益：**108百万円（前年同期比 77.8%増）**。セキュリティ製品「AppGuard®」の販売及び「AppGuard Server」を共同開発。

(百万円)	18年9月期 第1四半期 実績	19年9月期（計画）			通期計画 進捗率	
		第1四半期 実績	前年同期比増減	上期計画		通期計画
売上高	3,210	3,866	20.4%	7,660	16,000	24.2%
売上総利益	749	932	24.4%	-	-	-
（売上総利益率）	23.3%	24.1%	+0.8pt	-	-	-
営業利益	60	108	77.8%	339	800	13.5%
（営業利益率）	1.9%	2.8%	+0.9pt	4.4%	5.0%	-
経常利益	80	115	44.1%	342	816	14.2%
（経常利益率）	2.5%	3.0%	+0.5pt	4.5%	5.1%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	158	52	-67.0%	229	540	9.7%
（当期純利益率）	4.9%	1.4%	-3.5pt	3.0%	3.4%	-
EPS	40.93円	12.43円	-	54.37円	128.19円	-



1. 決算概要	4 ページ
2. 実用化されたIoT/IoEソリューション	9 ページ
3. CSR・ESGへの取り組み	14 ページ
4. 決算期末後のリリース	16 ページ
5. 中期ターゲットと株主還元方針	18 ページ
6. 参考資料	21 ページ

証券コード 3918
東証一部上場

PCIホールディングス株式会社

PCIグループ

- PCIソリューションズ株式会社
- 株式会社シスウェーブ
- 株式会社シー・エル・シー
- 株式会社リーふねっと
- Safer Connected World株式会社
- VSE



1. 決算概要

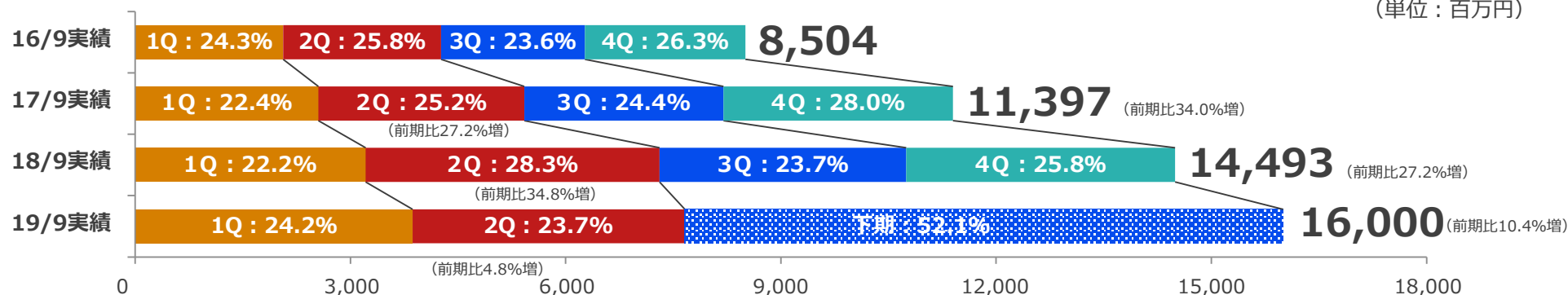


2019年9月期 第1四半期 業績推移 (サマリー)

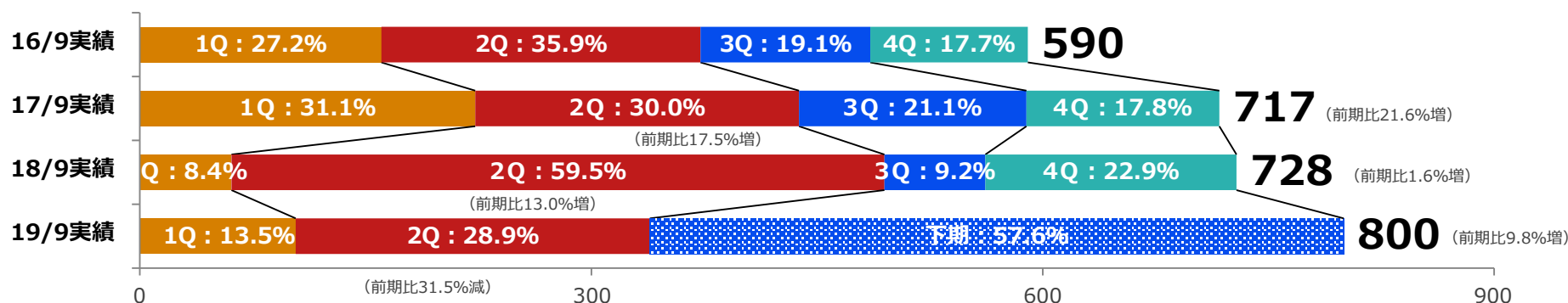


(単位：百万円)

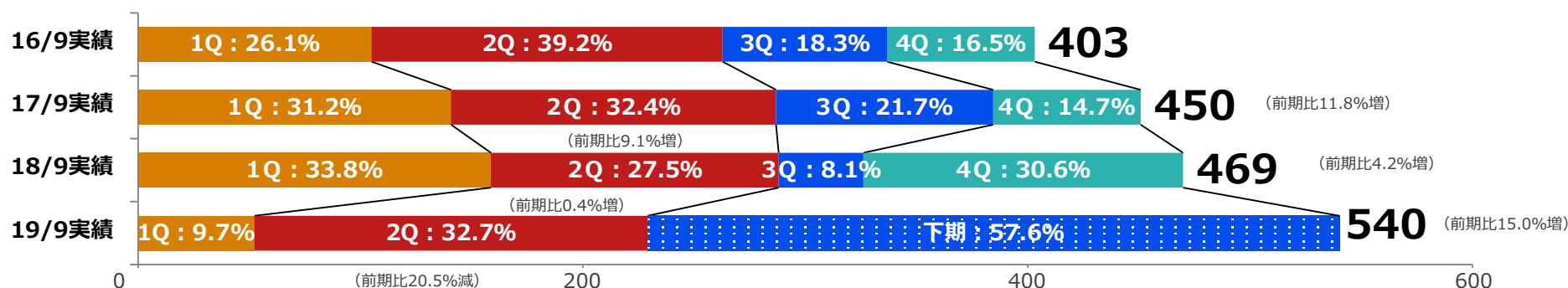
売上高



営業利益



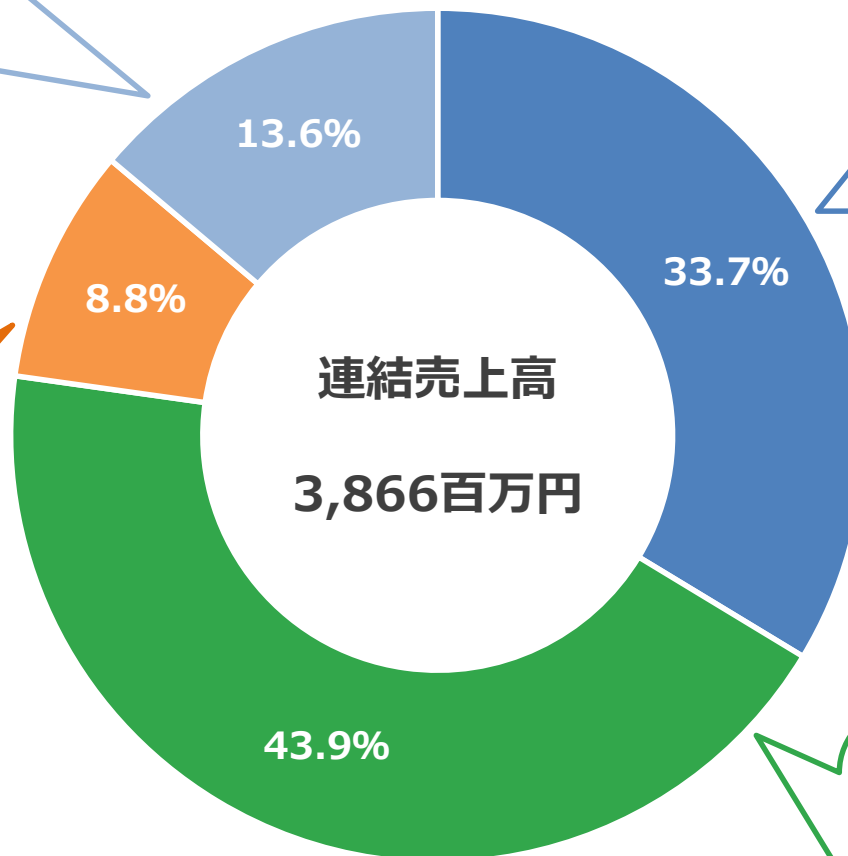
当期純利益



IR Movies

- ・既存顧客からの自動車向け基板開発案件を継続受注
- ・テスト評価環境構築等の新規顧客からの案件も受注
- ・連結子会社となったVSE(株)の半導体関連事業の売上が純増
- ・異業種からの開発案件の引き合い増加
- ・新技術開発及び自社製品の実用化に向け研究開発投資を吸収

- ・車載制御系、AUTOSAR系開発案件の受注拡大に注力。顧客企業への提案型開発アプローチを推進
- ・開発実績と自動車業界における先進技術を用い、先進運転支援システム系開発案件等、スマートカー関連案件が引き続き堅調に推移



- ・通信事業分野及びソリューション事業分野が収益寄与
- ・「AppGuard®」の知名度向上及び当社グループを通じた販売代理店拡充による販路拡大と販売強化に注力

- ・既存取引先との深耕拡大及び新規顧客を開拓。
- ・多岐にわたる顧客需要に応えるべく、高度な技術を要するビジネスパートナーとの更なるアライアンス強化も推進
- ・企業向けソフトウェア開発は、産業・流通向け案件が増加し、好調に推移

■ エンベデッド ■ ビジネス ■ IoT ■ 半導体



2019年9月期 第1四半期 連結損益計算書



(百万円)	2018年9月期			2019年9月期		
	1Q	上期	通期	1Q	上期計画	通期計画
売上高	3,210	7,308	14,493	3,866	7,660	16,000
エンベデッドソリューション	1,160	2,368	4,776	1,304	—	—
ビジネスソリューション	1,519	3,519	6,560	1,696	—	—
IoT / IoE ソリューション	86	502	1,376	339	—	—
半導体トータルソリューション	443	917	1,779	526	—	—
売上原価	2,461	5,292	10,546	2,934		
販管費	688	1,521	3,217	824		
営業利益	60	494	728	108	339	800
経常利益	80	516	771	115	342	816
税前利益	179	460	732	114		
法人税等	21	172	262	55		
親会社株主に帰属する当期純利益	158	288	469	52	229	540

(百万円)	2019年9月期 (計画)						2018年9月期 (実績)
	上期	対前期比	下期	対前期比	通期	対前期比	
売上高	7,660	+351(+4.8%)	8,340	+1,155(+16.1%)	16,000	+1,506(+10.4%)	14,493
営業利益	339	▲155(▲31.5%)	461	+226(+96.9%)	800	+71(+9.8%)	728
(営業利益率)	4.4%	▲2.4pt	5.5%	+2.2pt	5.0%	±0pt	5.0%
経常利益	342	▲174(▲33.8%)	474	219(+86.2%)	816	+44(+5.8%)	771
(経常利益率)	4.5%	▲2.6pt	5.7%	+2.2pt	5.1%	▲0.2pt	5.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	229	▲59(▲20.5%)	311	+129(+71.1%)	540	+70(+15.0%)	469
(当期純利益率)	3.0%	▲0.9pt	3.7%	+1.2pt	3.4%	+0.2pt	3.2%
DPS (円)	30円	-	30円	-	60円	+5(+9.1%)	55円
配当性向 (%)	-	-	-	-	46.8%	▲1.6pt	48.4%
EPS (円)	54.37円	▲16.6 (▲23.4%)	73.82円	+30.59 (+70.8%)	128.19円	+14.5(+12.7%)	113.74円

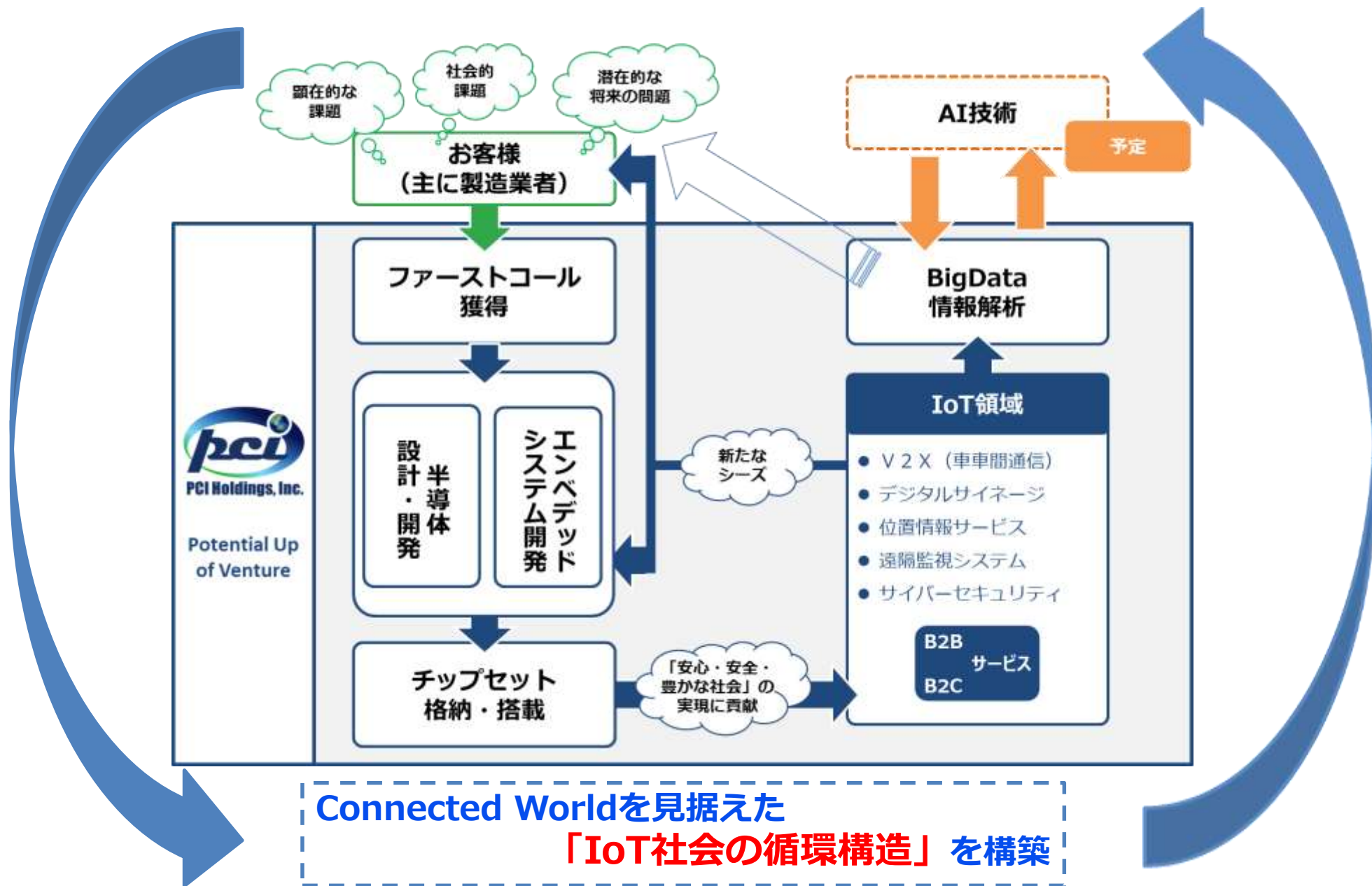
Tips!

来期計画のPOINT :

- 1) M&A実施企業の事業特性から、下期偏重傾向が強まる(売上高、営業利益)
- 2) 次期を見越した先行投資(先端技術の研究開発、積極的な人財採用へ継続的に積極投資)
- 3) 戦略的事業投資、既存事業の強化を続行。特殊技術や先端技術を保有する事業会社との各種アライアンス、規模拡大を目的としたM & Aも引き続き推進

2. 実用化されたIoT/IoEソリューション



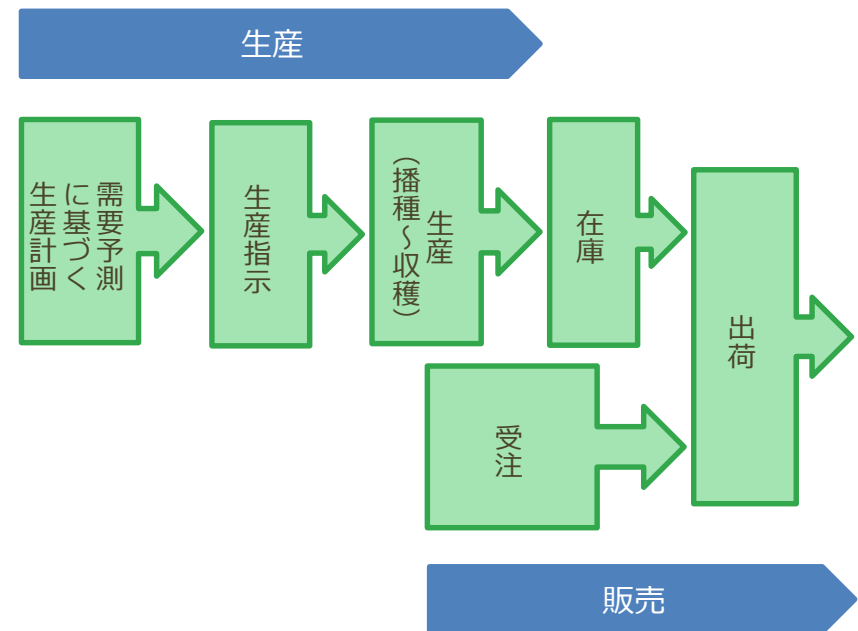
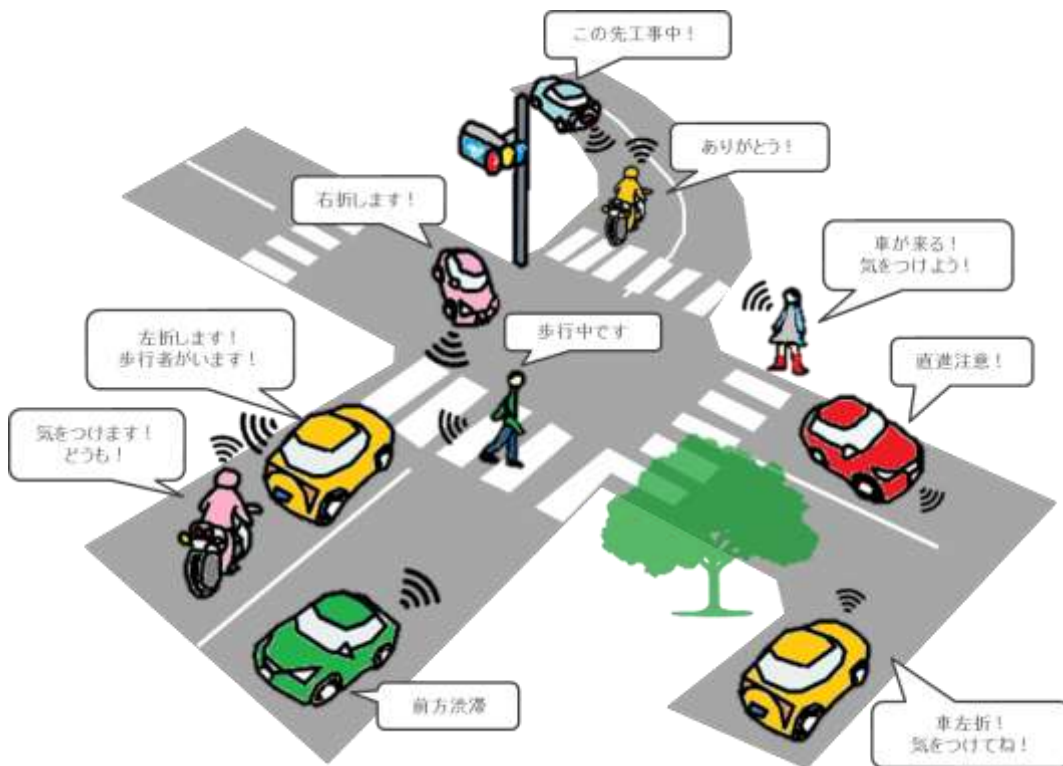


V 2 X (Vehicle to X・車車間通信)、植物工場事業への参画

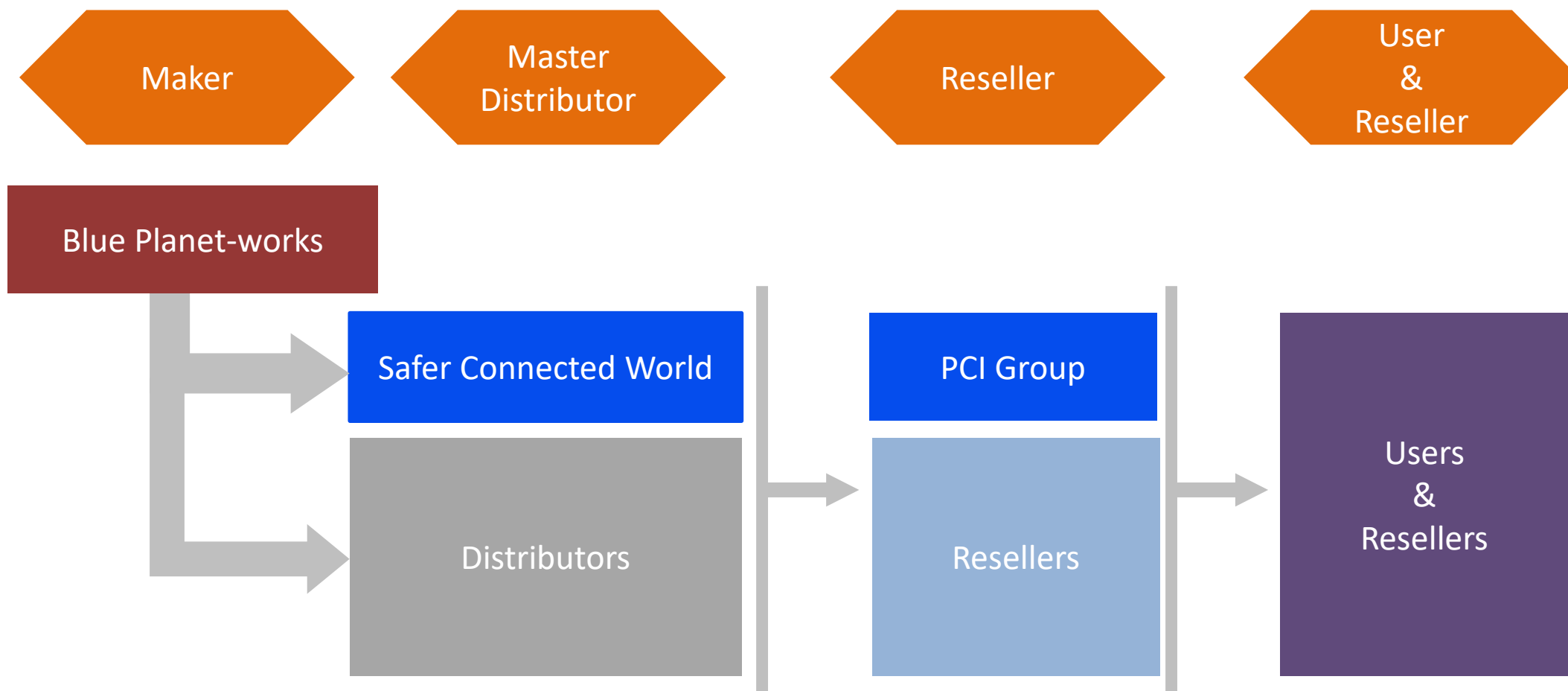
V 2 Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は **V 2 Xユニットのソフトウェア開発** と **V 2 Xを活用した新サービスを提案**

当社の**資本業務提携先**である株式会社バイテックホールディングスのグループ子会社が展開する**植物工場事業**に対し、**当社が一部出資**し、同事業に係る**システム開発を受託**



当社グループの『AppGuard®』販売フロー



3. CSR・ESGへの取り組み



ESG (Environment = 環境、Social = 社会、Governance = 企業統治) に対し、
継続的かつ積極的な貢献を目指しております。

学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」のサポート活動

学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」が取り組む研究活動へのサポートを開始（2017年4月）。RISCs（Rikkyo Ikebukuro Support Companiesの略称。本活動に賛同・協力する事業会社群のこと）と共に、「**理工系人材の育成**」、「**イノベーション環境の提供**」をテーマに、中高生が最先端技術に触れる機会の提供と社会的意義が深く新たな価値創造ができる人材育成を目的。

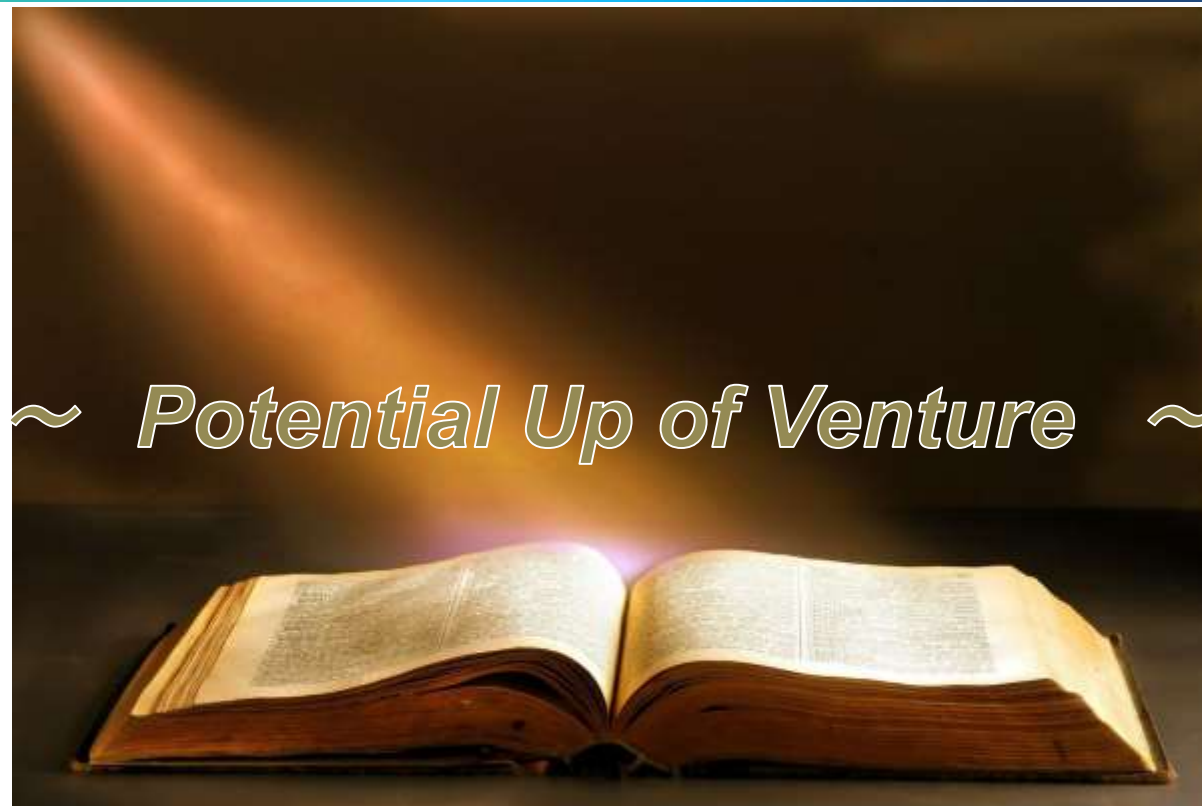
山形県村山市との「地方創生と人づくりに向けた包括的ICT連携協力に関する協定」

山形県村山市内を流れる最上川沿いに建つ多目的温泉保養館「クアハウス基点」へ、市民や観光客の皆様への情報提供を目的に「**デジタルサイネージ『情報掲示板A-ya』**」を導入（2017年10月）後、「**ICT連携に関する協定**」を正式締結（2018年1月）。住民の皆様への公共サービス向上と社会実装を目指した「**除雪等位置情報システムに係る実証実験**」（2018年2月開始）の実施や、「むらやま教育のつどい（2018年11月開催）」へのブース設置により、「**ICT教育及び先端サイネージ・ソリューションの体験環境**」を提供。

プロテニス選手を目指す佐藤南帆選手を応援

青少年の健全育成に賛同し、スポーツ活動の支援を決定。具体的には、「**将来を担う次世代育成**」と、「**活動的な社会の実現**」を目指した青少年育成を目的に、「TeamNaho」を通じて世界で活躍するテニスプレイヤー佐藤南帆選手のサポートを開始（2017年8月）。

4. 決算期末後のリリース



- ① 2019年1月10日 自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
(適時開示)
- ② 2019年1月18日 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関する
お知らせ (適時開示)
- ③ 2019年1月21日 連結子会社Safer Connected World株式会社が、
「AppGuard Serverの取り扱い開始に関するお知らせ」
を公表 (PR情報)
- ④ 2019年2月1日 自己株式の取得状況に関するお知らせ
(適時開示)

5. 中期ターゲットと株主還元方針

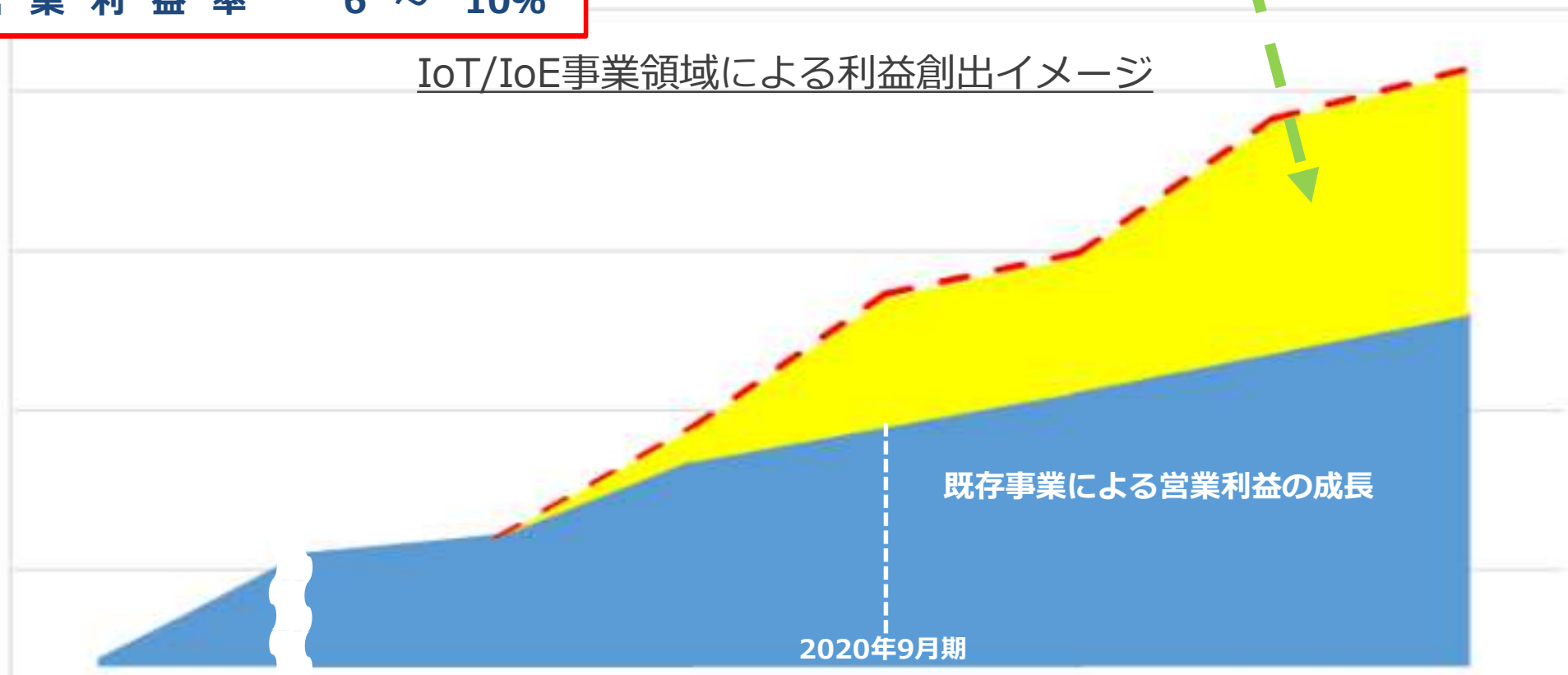


中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。



株主還元方針

安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上
[連結配当性向：30%～50%を目安とする]

配当推移

	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	55円 (普通配：55円)	60円 (普通配：60円)
配当性向	—	—	34.0%	42.1%	41.7%	48.4%	46.8%

(注) 1.2015年3月23日付で普通株式1株につき100株、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 2.上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。

3.2019年9月期より、配当方針を変更し、中間配当を実施いたします(第2四半期30円、期末30円を予定)。



6. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**



商号	PCIホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	10億4,516万円 (2018年9月末)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	144億9,359万円 (2018年9月期実績)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 3918)	経常利益 (連結)	7億7,118万円 (2018年9月実績)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,195名 (2018年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 原口 直道	連結子会社	PCIソリューションズ(株) (株) シスウェーブ (株) シー・エル・シー (株) りーふねっと Safer Connected World (株) VSE (株)



企業理念

我々は、**お客様の満足**を通じて
全社員の幸せを追求し、
そして**社会の発展**に貢献します。

行動方針

安定した事業成長を実現します
ユーザに適したソリューションを提供します
応援して頂ける企業を目指します
積極的（**P**）に変化（**C**）を求め革新（**I**）します
全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を
目指します

（注） **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate

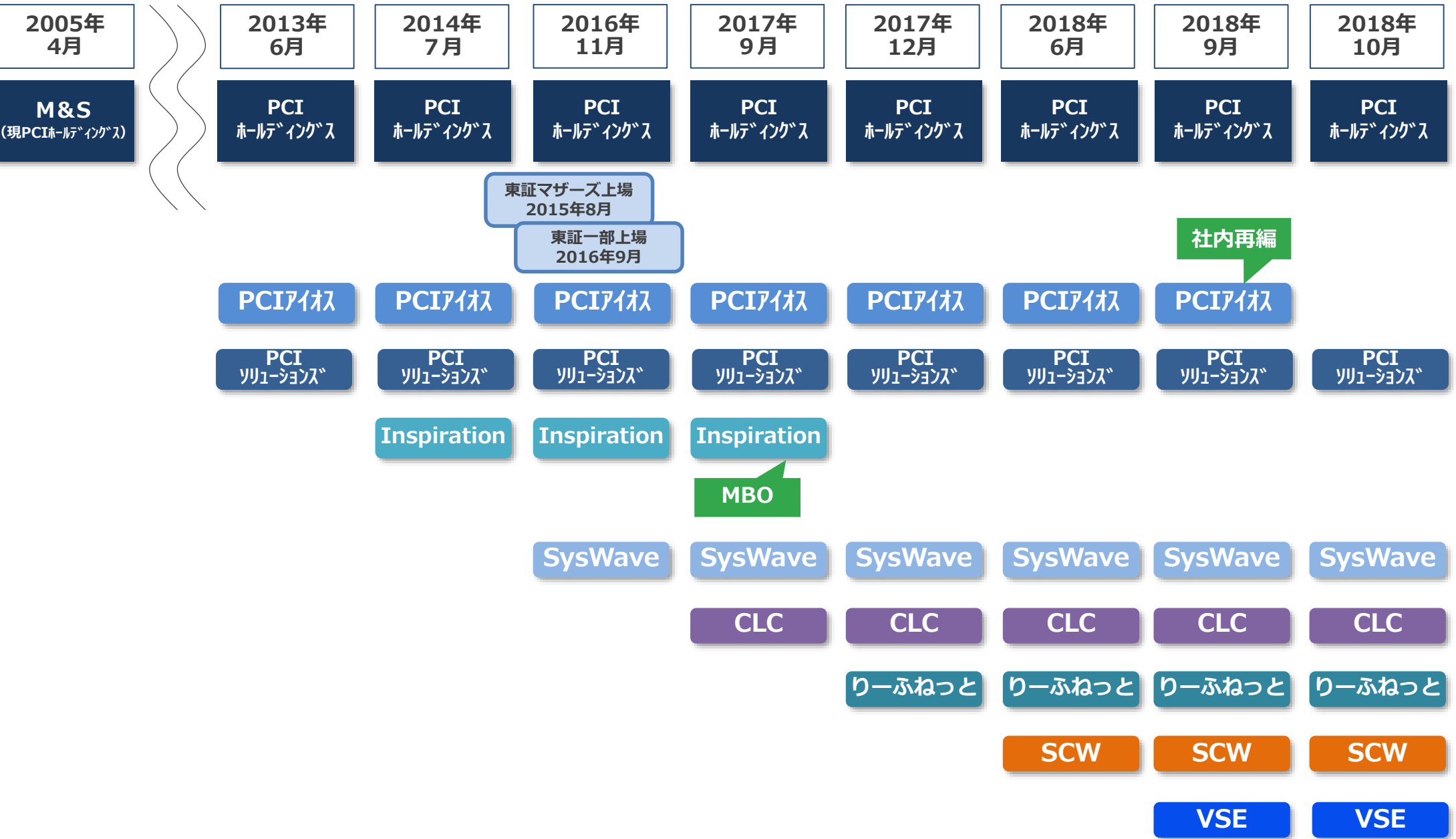
2019年9月期 グループMotto

IoTにより全てが繋がる社会になる中、
当社はITを通じて、
安心、安全、豊かな社会の実現に貢献します。



会社の事業内容について ～ グループ沿革 ～

概要



IR Movies

PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます

PCIホールディングス



PCI Holdings, Inc.

<http://www.pci-h.co.jp/>

グループ経営管理

PCIソリューションズ



<http://www.pci-sol.com/>

エンベデッドソリューション

ビジネスソリューション

IoT/IoEソリューション

シスウェーブ



<http://syswave.jp/>

半導体トータル
ソリューション

シー・エル・シー



<https://clc.co.jp/>

ビジネスソリューション

リーふねっと



<http://leafnet.jp/index.html>

ビジネスソリューション

IoT/IoEソリューション

Safer Connected World



<https://ag.safercw.co.jp/>

IoT/IoEソリューション

VSE



<http://www.vse-japan.com/>

エンベデッドソリューション

半導体トータル
ソリューション



IR Movies

PCIソリューションズ

エンベデッド
ソリューション

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

当社グループの連結売上高の約90%を占めるソフトウェア開発事業会社

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に応えている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IoEソリューションへも展開している。

シスウェーブ

半導体トータル
ソリューション

LSIの世界を支えるテストエンジニア企業

テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスとして、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

シー・エル・シー

ビジネス
ソリューション

ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進。



リーふねっと

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

お客様が感動するサービスをワンストップで企画、制作、運営まで提供。モバイルに強み。オープンソースソフトウェアを活用した、開発も行う

- ・企業向けスマートフォンサービスの企画・コンサルティング・構築サービス、映画館向けチケット予約・販売・発券システムの構築等のトータルソリューションを提供。2012年には総務省より電話に関する事業者識別番号（0067）の資格を獲得し、通信事業者としての事業も展開。
- ・オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

Safer Connected World

IoT/IoE
ソリューション

(株)BluePlanet-workusとの合併会社

株式会社Blue Planet-worksの製品である「最強そして究極」のサイバーセキュリティ・エンドポイント・プロテクション『AppGuard®』の販売及び関連サービスを提供。IoT/IoE社会のセキュリティまでリードすることを目的に設立。

VSE

エンベデッド
ソリューション

半導体トータル
ソリューション

(株)バイテックホールディングスグループとの合併会社

半導体やカメラデバイスのサービスサポート、デバイスドライバ～組み込みソフト開発、通信・放送系をメインとした電子機器開発まで、ニーズに合わせたサービスを提供。





さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベデッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。

参入障壁は極めて高い。

半導体チップの受託設計及びテストを行う。自社のテストセンターを所有。

特殊性が強い。

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。

参入障壁は高い。

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。

参入障壁は高くない。



IoT / IoEソリューション

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。
- 位置情報の活用、AR/VR、Connected Worldへの貢献

半導体ソリューション

- LSI設計、テスト設計、評価等、半導体開発全般のサービスを提供。半導体開発のイノベーションをトータルサポート。

エンベデッドソリューション

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組み込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

ビジネスソリューション

- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

成長分野

シナジー効果

収益基盤
(安定成長)

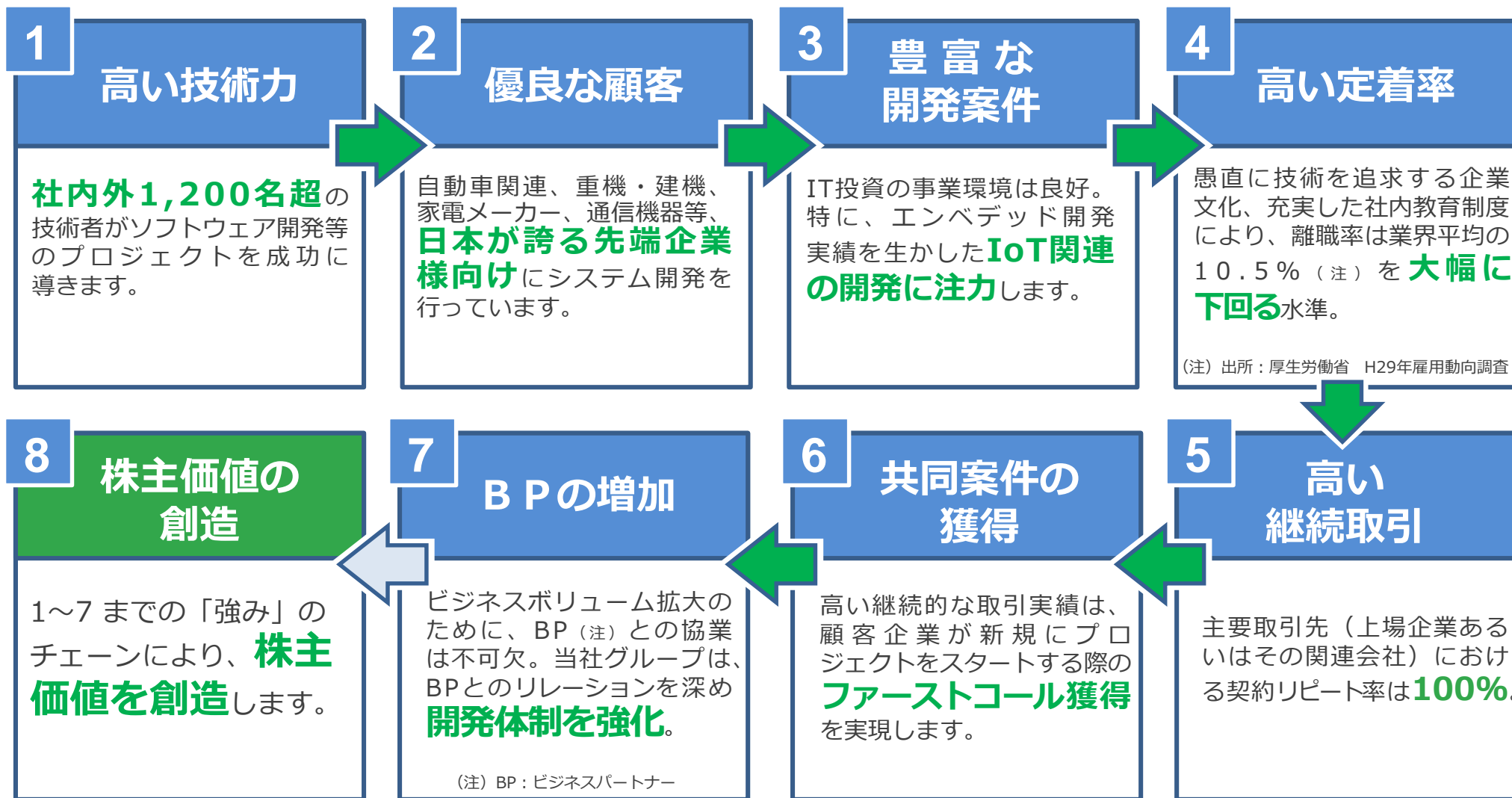
高い技術力の
源泉

PCIホールディングスの事業基盤

技術力 「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組み込み・半導体」

知的資本 「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」

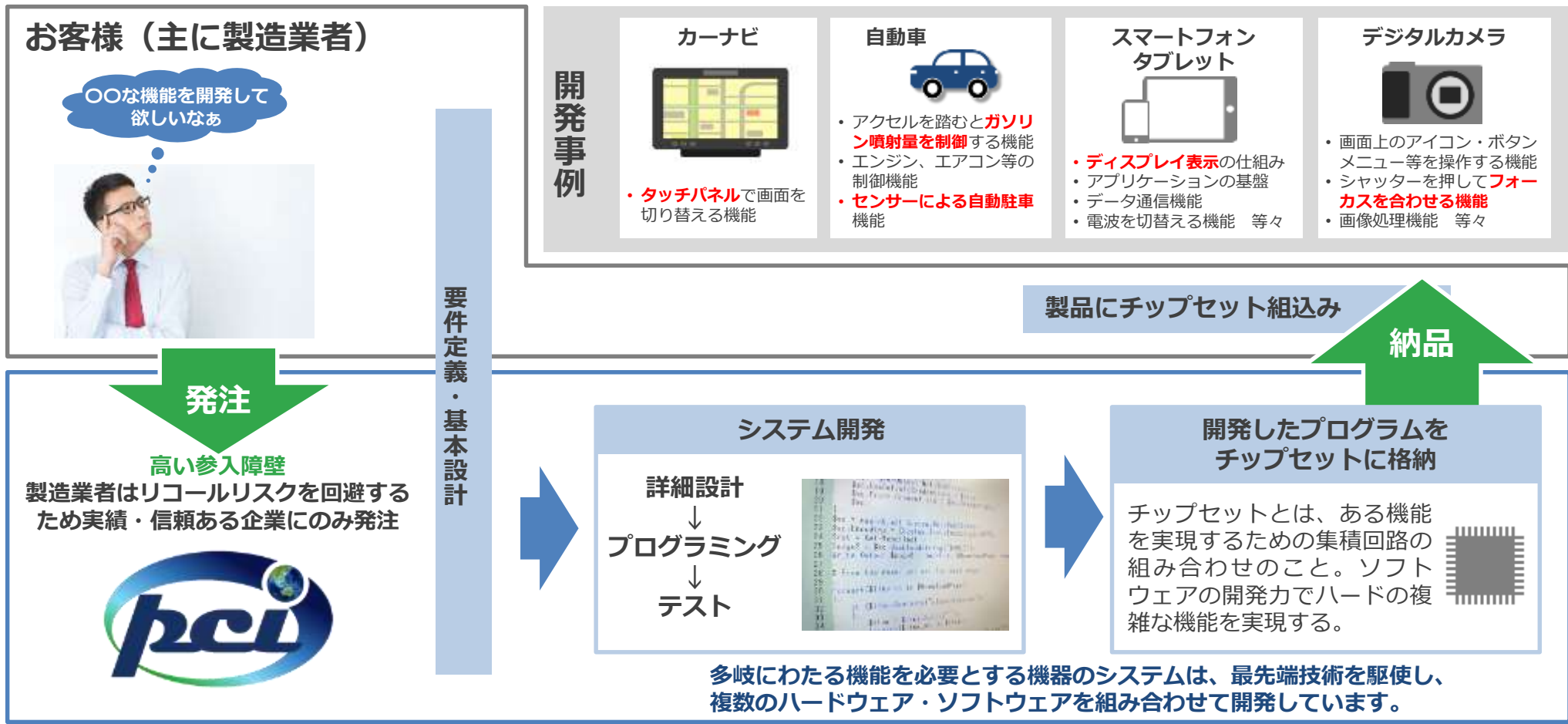




（注）各データは、2018年9月期末時点のもの



- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。



※上記は一例です。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。

「AppGuard®」テクノロジーについて

<特徴>

- ① 未知のマルウェアをブロック、② 完全防御、③ 20年以上破られたことのない実績

<採用実績>

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

<主要株主>

ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、**PCIホールディングス株式会社**、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、吉本興業株式会社、他

PCにインストールするだけ

- ✓ 不正な行為を未然に阻止
- ✓ 未知、ゼロデイ、ランサムウェア等の最新攻撃から守る
- ✓ システムの安全性を確保
- ✓ 運用コストの削減

軽くて軽快な動作

- ✓ エンジンは、1MB以下
- ✓ スキャン無し、軽快動作
- ✓ 業務への影響無し
- ✓ プロセッサへの負荷が最小

アップデート不要

- ✓ 定義ファイルのダウンロード不要
- ✓ AIエンジンのアップデート不要
- ✓ 常時ネットワーク接続不要
- ✓ 人に依存しない



PC



サーバー



POS端末



ATM

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



IR Movies

Advisors



黒川清

- 政策研究大学院大学名誉教授
- 特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事
- 元日本学術会議会長
- 元内閣特別顧問



Mark Kelton

- Former senior CIA executive (Deputy Director of the National Clandestine Service for Counter Intelligence (DDNCS/CI))
- Director of MEK & Associates



出井伸之

- クオンタムリープ株式会社代表取締役
- 元ソニー株式会社社長・会長



Stanton D. Anderson, Esq.

- Senior Counsel to the President and CEO, US Chamber of Commerce
- Founder, AHNB
- Former member of US President's Advisory Committee



村井純

- 慶應義塾大学
大学院 政策・メディア研究科委員長
環境情報学部 教授



Robert Bigman

- Former CIA CISO (Chief Information Security Officer)
- 2BSecure President (information security consulting company)

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 グループ戦略室
E-mail ir@pci-h.co.jp



[IR Movies](#)

Copyright (C) 2019 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.